

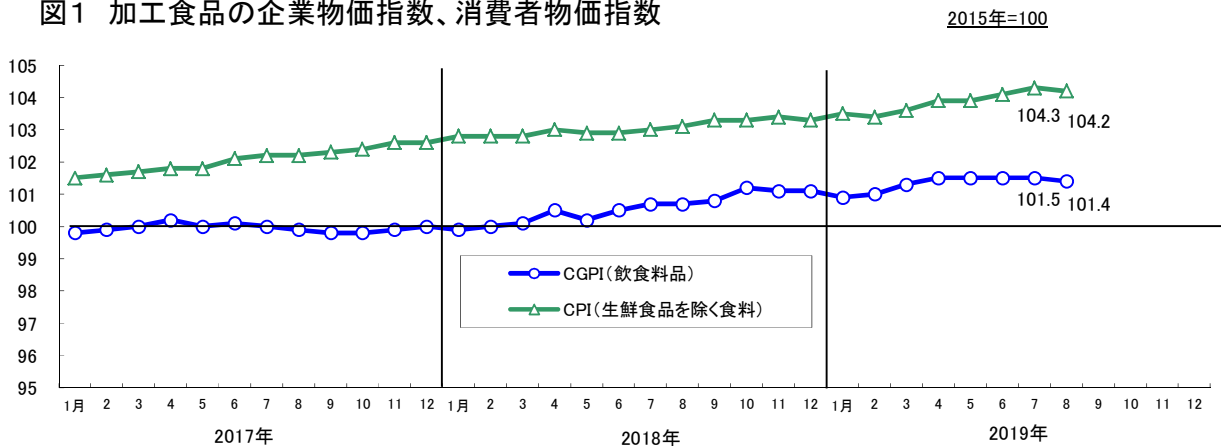
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は横ばいから上昇傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年5月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同104.2で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



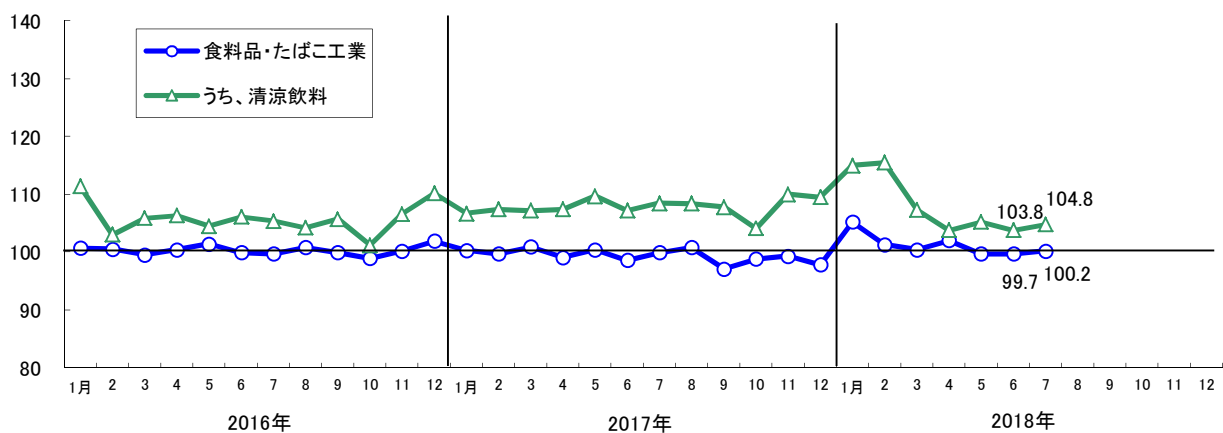
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比横ばい、清涼飲料についてはわずかに低下

2019年7月の食料品・たばこ工業の生産指数は、100.2で前月比0.5%と横ばいになった。うち、清涼飲料は104.8で前月比▲1.0%とわずかに低下した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2015年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

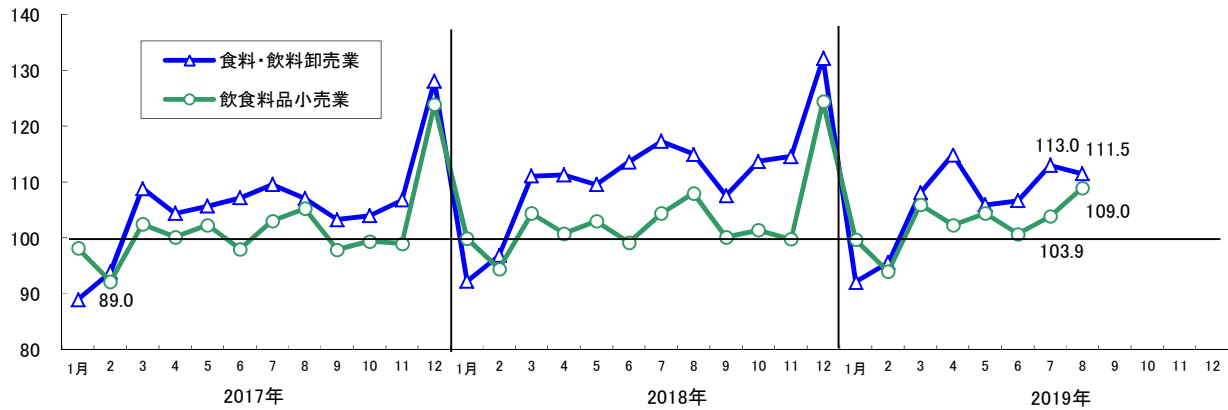
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや低下、小売業販売額は同横ばい

2019年8月の食料・飲料卸売業の販売額指数は111.5で対前年同月比▲3.0%とやや低下した。飲食料品小売業の販売額指数は109.0で同0.9%と横ばいとなった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

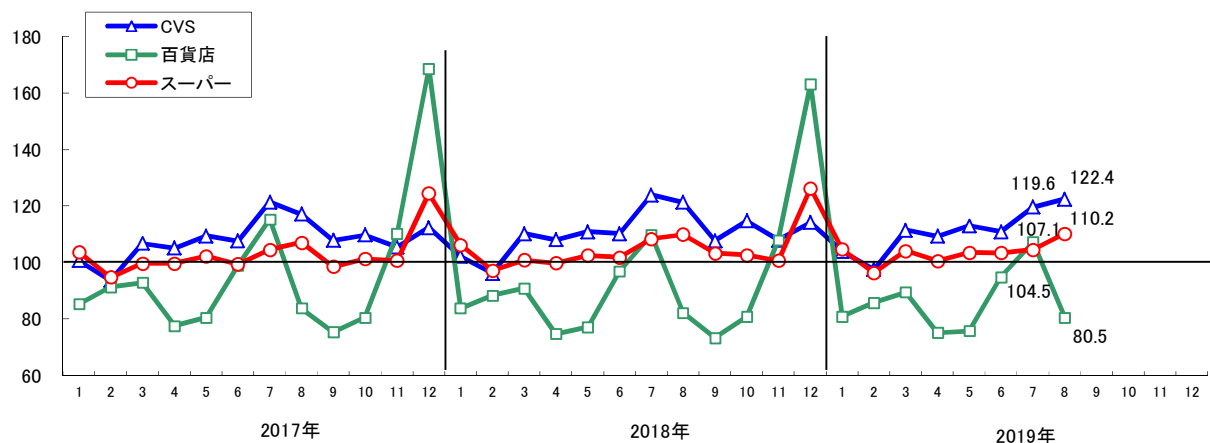
4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

スーパーおよびCVSは対前年同月比で横ばい、百貨店は同わずかに低下

2019年8月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは122.4で対前年同月比0.9%と横ばい、スーパーは110.2で同0.2%と横ばい、百貨店は80.5で▲2.0%とわずかに低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。